

いいづな歴史 ふれあい館だより

第18号

2023.3.31



特別展「飯綱町と水の恵み」開催しました お見逃しの方は、まだ一部の展示がみられます!!

一日たりとも暮らしに欠かすことのできないのが水です。2022年9月23日（金）～11月27日（日）の会期で令和4年度の特別展『飯綱町と水の恵み』が開催されました。町の主要な堰や用水、上水道水源の水が、どこからどのようにして近くの田んぼや家の蛇口までやってくるのか、大きな図や写真、様々な資料などとともにご覧いただきました。

また、主な用水の開削の歴史から、町の発展と用水の維持管理、水利権をめぐる紛争などにまつわる古い文書や、用水の近代化がはかられた昭和40年代の出来事も紹介されました。

残念ながら、都合がつかず見逃してしまったという方もおられるかもしれません。令和5年度に入っても、しばらくの間、歴史ふれあい館の2階の部屋に一部の展示を残し、ご覧いただけるようにしてあります。昭和47年（1972）の芋川堰隧道（トンネル）貫通を祝う貴重な記録動画もご覧いただけます。ぜひ歴史ふれあい館においでください。館長もしくは学芸員による展示解説もできますので、ご希望の方は事前にご連絡下さい。

特別展開催に向けては、関係する区や水利組合等の用水管理者、利水に詳しい地元の方々に、ご理解と様々なご協力をいただきました。この場をお借りし、心から感謝を申し上げます。

◆特別展図録『飯綱町と水の恵み』は、町の水の由来を深く知るために最適の手引きです。まだ在庫の冊子があり、歴史ふれあい館で1冊500円で購入できます。数に限りがありますので、入手を希望される方は、お早目をお願いします。



特別展会場の様子



特別展図録（43ページ、カラー）

ごあいさつ

館長 富樫 均

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大は収束せず、先の見えない日々が続きました。そんな中であっても「水」をテーマにした特別展を開催し、関連行事等を無事に行うことができました。とくに、心より感謝を申し上げます。農業を基盤にする飯綱町にとって、流れ続ける用水は町の生命線です。水に関わる話題はまだまだありそうです。新しい研究成果を盛り込んだ展示会は、今後第2弾、第3弾が開催されることと思います。どうぞお楽しみに！

コロナ禍も丸3年に及び、健康に留意しながら、そろそろ元の日常を取り戻したいという気運が高まっています。各地区におかれましても、様々な行事の再開が予定されていることと思います。これからの町の自然・歴史・文化の魅力を伝える情報拠点になれるように努めてまいります。どうか変わらぬご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願ひします。

「飯綱町の文化財」展をふりかえる

第2回 歴史講座（講演会）

『はっ！とした飯綱町の文化財』

- ・ 講師：中村芳人氏（飯綱町文化財保護審議会 会長・富樫 均（いづな歴史ふれあい館 館長）
- ・ 2月19日（日）
- ・ 飯綱町民会館ホール
- ・ 参加者78名

前段では富樫均館長より、一昨年に開催された町制15周年記念特別展の報告がありました。コロナ禍の影響、前年の図録作成の経緯、関連行事の内容等が紹介され、アンケートにより、会期中の観覧者数や観覧者の方々の住まい、年齢等の傾向についての分析結果も示されました。その結果から、町の魅力いっぱい文化財について、小・中学生から10代、20代の若い世代の方々に、もともと親しんでほしいという希望が述べられました。

続いて登壇した中村芳人氏は、



講演の様子（中村氏）

第3回 歴史講座

『歴史に残された水の恵み・先人の知恵／県内各地の堰・用水の遺産巡り』

- ・ 講師：山浦直人氏（長野県立歴史館名誉学芸員）
- ・ 3月11日（土）飯綱町民会館ホール
- ・ 参加者74名

10月30日の開催予定が延期されていた「特別展 飯綱町と水の恵み」記念講演会」の振替として行いました。佐久の五郎兵衛用水、諏訪の繰越堰、伊那の西天竜用水など、県内の主な用水路を個別に紹介。先人の知恵の結晶ともいえるべき優れた土木技術を詳しく解説していただきました。

また江戸時代作の飯綱町の用水絵図には、高度な測量の痕跡があると指摘。用水開発に欠かせない測量技術が、飯綱町の人々の間に古くから普及していた可能性にも言及され、町の用水開発の歴史に新たな視点を示していたいただきました。



講演の様子（山浦氏）



三水小学校の茶室（法母庵）

予告!

令和5年 いいづな歴史ふれあい館 特別展 『(仮) 飯綱町と食べごと文化』

会期：令和5年（2023）9月16日（土）～11月26日（日）

会場：いいづな歴史ふれあい館 2階企画展示室

かつて飯綱町には、季節の自然の恵みを大切にいただく四季折々の郷土食がありました。令和5年度の特別展では、高度経済成長期以前の日々の食事に注目し、“食べごと文化”を再発見します。伝えられてきた“食べごと”には、この地の風土を生かした大事な知恵があり、時代とともに変わりゆく食には新たな工夫や創意が必要とされています。町内の食育推進グループの方々の協力もいただき、様々な展示とともに、食の体験会も行い、文化・自然・健康をキーワードに、地域に根差した食の豊かさを再確認し、暮らしにとって本当に大切なことを次世代に伝えてゆく機会にしたいと思います。

詳細は順次町の広報やホームページ等でお知らせしていきます。どうぞお楽しみに！



箱膳料理の一例（令和4年度の「食の匠」養成講座より）

町ホームページの当館情報はこちらからご覧いただけます。



新刊紹介「いいづな歴史ふれあい館紀要第10号～飯綱町の自然・歴史・文化～」

2023年3月刊

<目次>

- ・齋藤健司・・・「江戸時代の能書家佐々木文山が揮毫した飯綱町高岡神社所蔵扁額『飯綱大明神』」
- ・富樫 均・小山丈夫・・・「令和4年度特別展『飯綱町と水の恵み』が出来るまで」
- ・富樫 均・・・「飯綱町の一級河川一水系の動的変遷をめぐる考察（前編）一」
- ・山形哲也・富樫 均・・・「長野県上水内郡飯綱町のトウギョ（チョウセンブナ）」

◆ 今号には町有形文化財の高岡神社扁額「飯綱大明神」に関する研究や町天然記念物「トウギョ」に関する研究の成果、そして特別展「飯綱町と水の恵み」関連の論考等が掲載されています。当館窓口にて販売価格1,000円で取り扱っており、バックナンバーもあります。公民館図書室・飯綱中学校図書館では閲覧・貸出しも可能です。この町をより深く知るために、ぜひご覧ください。

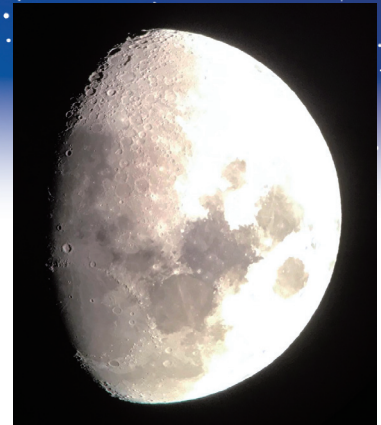
いいづな歴史ふれあい館 星空お出かけ情報

★ 令和5年度天体観望会予定表

【季節の星空観望会】

毎月第2・第4土曜日(12～3月第2土曜日を除く)は天体観測室を公開しての星空観望会開催日です。
お気軽におでかけください。

4月 8日(土)・22日(土)	5月13日(土)・27日(土)
6月10日(土)・24日(土)	7月 8日(土)・22日(土)
8月12日(土)・26日(土)	9月 9日(土)・23日(土)
10月14日(土)・28日(土)	11月11日(土)・25日(土)
3月23日(土)	



観望会で撮影された月
(スマートフォンで撮影)

☆開催時間／19:30～21:00(5～7月)

19:00～20:30(上記以外の期間)

☆入場無料

【特別観望会】

5月4日(木祝)・5日(金祝)

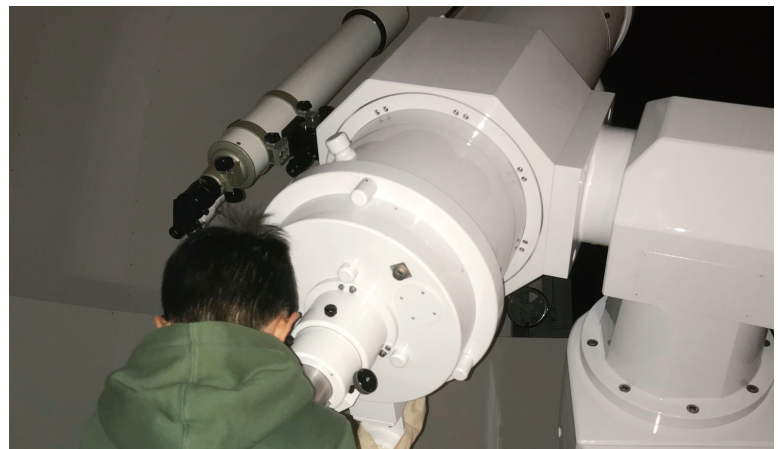
10:00～13:00 太陽を見よう(一般は入館料が必要、飯綱町民無料)

☆35cm反射望遠鏡をはじめ10cm望遠鏡、双眼鏡などで季節の星空を楽しめます。

☆曇天・雨天の場合は中止します。

おことわり

☆観望会は当面、感染症対策として予約制で行います。参加希望のかたは、事前に当館までお問い合わせください。



いいづな歴史ふれあい館

〒389-1211 長野県上水内郡飯綱町牟礼 1188-1 電話 026(253)6646 FAX 026(253)6649
HP アドレス : <https://www.town.iizuna.nagano.jp> (飯綱町ホームページ)
Eメール : rekifure@town.iizuna.nagano.jp